

たより from おんがた

発行人

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
恩方育成園 施設長 久保田 美幸
〒192-0154 八王子市下恩方町 2794-1
Tel 042(652)3825 Fax 042(652)3826



進化系未来志向！～重度・高齢期対応の取り組み～

2022年 新年あけましておめでとうございます。

本年も何卒よろしくお願いたします。

当園入口の路面が朝方には白く凍結し、昨年とは違い寒さも厳しい年明けを迎え今後の積雪を予感させる気候と、これも地球温暖化による気候変動の表れなのか、2018年の大雪を危惧する中で、年始早々に雪が舞い降りる新年を迎え、本年はこれまでとは違う何かを予見させるような年になるのではないかと考え深く感じました。

3回目のワクチン接種、経口薬の開発や諸外国の緊急承認と、新型コロナウイルス感染症の変異株が出現し第6波へと急速に感染を拡大している中で、感染症と向き合い続けている医療従事者及び同朋である福祉従事者を始めとするエッセンシャルワーカーの皆様、「ありがとう」の感謝とエールを贈り、早期終息を心より願います。

さて、2022年は、九星気学では36年に一度に来る「五黄の寅」最強の運勢と言われ、干支では、「壬寅」と冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれるというイメージがあり、強く大きく成長することを表しているとのこと。

現在の障害福祉において、高齢・重度(課題行動等を含む:以下同様)化の課題は誰もが経験をしたことがない状況に直面しています。当園での高齢化は、平均年齢が55歳に達しようとしており、65歳以上の利用者が13.2%、最高年齢の利用者は80歳を超え、65歳を迎えるダウン症の利用者、重度支援利用者が45%、車いす利用者が20%など、高齢・重度化ならぬ重度・高齢期を迎えています。

当園では5年程前から転倒事故などが増加し、利用者の加齢に伴う機能低下がみられることから高齢化に伴う支援力の強化のため、令和元年下半期より東京都の

障害者支援施設等支援力育成派遣モデル事業を活用し、PT(リハビリ)チーム、ST(口腔ケア)チーム、利用者支援チームを編成して、緊急入通院ゼロを目指して取り組みを始め園内研修や利用者支援の意見交換などを繰り返し実施し、訪問PT・ST、訪問歯科と連携した取り組みができるようになり、現在ではリハビリ委員会、口腔ケア委員会と高齢期の対応への取組みがボトムアップ方式で推進され緊急入通院が減少してきています。

また、利用者支援チームを障害者支援施設ICT機器導入支援モデル事業(現:障害者支援施設デジタル技術等活用支援モデル事業)のプロジェクトチームとして、見守り機器(一般医療機器)やタブレット端末などのICT機器を導入し、利用者の睡眠状態からの生活リズムの把握や職員間の情報共有など重度・高齢期対応の利用者支援の向上に取り組んでおり、科学的な視点も活用し利用者の行動や体調の変化を早期に捉えて支援や医療につながができています。現在ではプロジェクトを標準化・ICT委員会として、各部署のチーム及び園全体の標準化とICT活用による利用者支援の向上に取り組んでいます。

これらの取り組みは、東京都の障害者支援施設の中でも数少ない先進的な取り組みを実践しており、近い将来にはこのようなデジタル技術の活用が、様々な施設及び事業所において標準的な設備になっていくことが想定されます。その上では障害者支援(特に知的障害分野)の専門職として、福祉用具を始め、支援や業務に必要な機器や用具等を如何に“使いこなす”かが、支援の上で欠かせない必須のスキルとなっていきます。

施設長 久保田 美幸

2021

まとめ

❀お花見会❀



春にはお花見メニューを食べました！

春



普段と違う
ご飯に夢中！



7フロアも飾り付！
春を感じられるように工夫しながら過ごしました。



祭 あじさい祭り

祭

夏

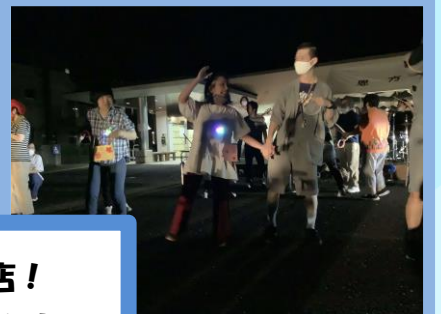
暑さも吹き飛ばすくらい
盛り上がりました！



最後は打ち上げ花火。
皆さん夢中で花火を見上げ、
花火の音だけが夜空に響いていました。



お祭りと言えば出店！
メニューは皆で決めました。



秋



もみじ祭り



鳴子を持って
リスミカルに踊りました！



ミニオンも駆けつけて
くれました♪



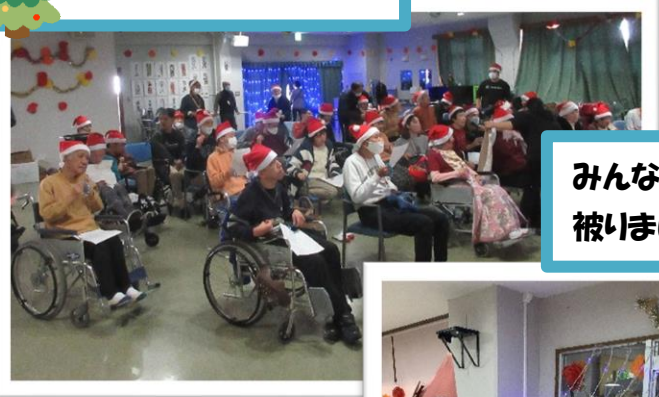
秋と言えば
やっぱり食欲の秋です！



今年も利用者と職員でバンド
を組んで盛り上げました♪



クリスマス会



みんなでサンタ帽子を
被りました♪♪



冬

毎回楽しみにしている
クリスマスケーキ！
ショートケーキが人気！



サンタさんがクリ
スマスプレゼント
をくれました！



2021 年も季節感を大事に
して様々な行事を実施しま
した。園内でも楽しめるよう
皆で考え工夫して過ごしま
した。

令和3年度もみじ祭りを振り返って…

今年度もコロナ禍の影響を鑑み、利用者・保護者・地域の皆様の安全を考慮した上で、従来の「あきまつり恩方」ではなく、昨年に引き続き園内行事としての「もみじまつり」を開催致しました。

利用者自治会にて、まつり内でどんなイベントを行いたいか模擬店で何を食いたいかな等を一緒に考えた上で、要望に沿っての企画をしました。利用者の皆様が喜ばれる音楽イベントが主軸となる中、昨年とまた違ったテーマや趣向も必要と考えました。今年は「東京オリンピック・パラリンピック」開催もあり、模擬店やイベントに反映することとなりました。

11月12日(金)当日は晴天に恵まれました。感染症対策をとり密も避けながら、園内駐車場にて開催しました。午前の部は音楽中心のイベントとなりました。まずは音楽に合わせて皆でダンスを踊りました。「パプリカ」や「USA」等の曲がかかると利用者の皆様・職員が一丸となり、活気や笑顔であふれていました。次のバンド演奏ではボーカルを利用者が、演奏を職員が行い盛り上げました。ステージ以外の方も演奏や歌が始まると、一緒に歌う方・踊る方・手拍子をする方等様々な楽しみ方が見られました。ダンスの合間に今年度入職した職員の自己紹介もあり、盛り上がりました。

昼食は模擬店での提供となりましたが、食品目を豊富にして「食を選べる楽しさ」を設定したとともに、「食のオリンピック」とテーマも掲げました。模擬店の看板に国旗も入れ、「フランクフルト＝ドイツ代表」という風に見た目やアナウンスでも利用者の皆様が楽しめるようにしたことで、昼食を満喫できた様子が見られました。

昼食後に若手職員によるコントやイントロクイズ大会があり、皆様の笑いやクイズへの積極的な参加がありました。そして午後のイベントとして、オリエンテーリング形式の3チーム(女性フロア・2階男性・3階男性)に分かれて、園内や駐車場の飾りシール(裏に得点つき)を探して競うという「オリンピック・パラリンピック」をヒントにした新しいイベントを行いました。初めての試みでしたが、利用者の皆様と職員がチームワークを発揮して、得点となるシール探しに奮闘する姿が印象的でした。イベント終了後に3チームにそれぞれメダル・景品授与を行うとともに、仮装した職員と(借用した)聖火トーチを持っての写真撮影もあり、内容はかなり充実したものとなりました。

この「もみじまつり」は、利用者の皆様が笑い楽しめたことは勿論の事、利用者と職員の絆がさらに強まったと感じました。そして、無事に開催できたことも何より喜ばしい限りでした。

しかしながら、来年度こそは保護者・地域の皆様も迎えての従来の「あきまつり恩方」を開催できることに加え、新型コロナウイルスという暗雲が一刻も早く晴れて終息することを、心より願う次第です。

もみじまつり実行委員長 野村淳一郎

恩方育成園ではスタッフ及び
ボランティアを募集しています！
お気軽にお問合せください♪

社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会
障害者支援施設 恩方育成園

〒192-0154 東京都八王子市下恩方町 2794-1
TEL 042-652-3825 FAX 042-652-3826
URL <http://www.ikuseikai-tyky.or.jp/~iku-ongata/>

採用担当：岡、本田、田代
ボランティア担当：門倉志保

編集後記

令和4年が始まりました。現在、緊急事態宣言には至っていませんが、オミクロン株の流行により予断を許さない状況が続いています。今後のイベントなど利用者さんと楽しく過ごせるように、今後も体調管理や感染対策をしっかりと行なっていきたいと思います。そして、これからもコロナに負けないように利用者の皆様と職員は頑張っていきたいと思いますので、保護者の皆様もお体に気を付けてお過ごしください。

広報委員会 吉良